

「信州プラスチックスマート運動」の 協力事業者を募集します！



ながのけんりサイクル
キャラクター「くるん」

登録できる方

長野県内でプラスチックの削減等に取り組まれている事業者（小売業、外食業、製造業等）、団体（一般社団法人、NPO法人等）、学校など

登録されると・・・

「信州プラスチックスマート運動協力事業者登録証」を交付

信州こみげんねっと
で、取組内容等を紹介

※店舗用には別途ステッカーをお送りします。

登録内容の例

プラスチックごみを減らす取組

- レジ袋の削減（スーパー等）
- 使い捨てトレーやペットボトルの回収（スーパー等）
- 詰め替え用ボトルの使用（ホテル・旅館等）
- プラスチックストローの廃止（飲食店） など

プラスチックの製造・研究 ボランティア など

- バイオプラスチックの製造・研究
- プラスチック代替製品の製造
- 使い捨てプラスチックをリサイクル原料とした製品の製造
- 河川におけるごみ拾い活動 など

長野県では、海洋プラスチック問題に上流県から向き合い、プラスチックと賢くつきあう

「信州プラスチックスマート運動」を推進しています。

以下の3つを意識した行動を！

意識して「選択」

少しずつ「転換」

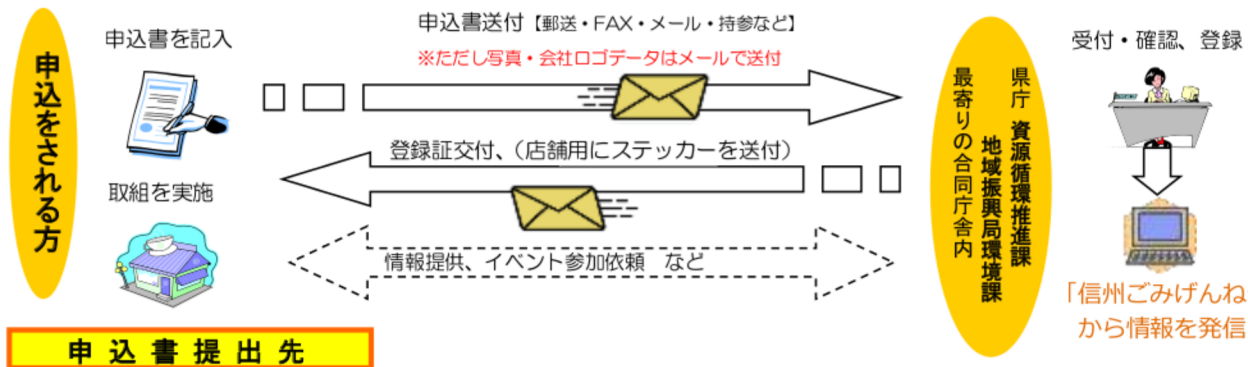
分別して「回収」

詳細は裏面をご覧ください

登録申込み方法 申込書は以下の県公式ホームページ又は資源循環推進課・各地域振興局環境課まで

<https://www.pref.nagano.lg.jp/haikibut/kurashi/recycling/shigen/purasumabosyu.html>

申込書・写真等データ送付先 shigenkasuishin@pref.nagano.lg.jp



申込書提出先

長野県環境部 資源循環推進課 資源化推進係 〒380-8570 長野市大字南長野幅下 692-2 長野県庁

電話：026-235-7181（直通） FAX：026-235-7259 e-mail: shigenkasuishin@pref.nagano.lg.jp

佐久地域振興局 環境課	〒385-8533 佐久市大字跡部 65-1 佐久合同庁舎	TEL:0267(63)3166	FAX:0267(63)3199
上田地域振興局 環境課	〒386-8555 上田市材木町 1-2-6 上田合同庁舎	TEL:0268(25)7134	FAX:0268(25)7167
諏訪地域振興局 環境課	〒392-8601 諏訪市上川 1-1644-10 諏訪合同庁舎	TEL:0266(57)2952	FAX:0266(57)2968
上伊那地域振興局 環境課	〒396-8666 伊那市大字伊那 3497 伊那合同庁舎	TEL:0265(76)6817	FAX:0265(76)6838
南信州地域振興局 環境課	〒395-0034 飯田市追手町 2-678 飯田合同庁舎	TEL:0265(53)0434	FAX:0265(53)0467
木曾地域振興局 環境課	〒397-8550 木曾郡木曾町福島 2757-1 木曾合同庁舎	TEL:0264(25)2234	FAX:0264(25)2247
松本地域振興局 環境課	〒390-0852 松本市大字島立 1020 松本合同庁舎	TEL:0263(40)1956	FAX:0263(47)8122
北アルプス地域振興局 環境課	〒398-8602 大町市大字大町 1058-2 大町合同庁舎	TEL:0261(23)6563	FAX:0261(23)6539
長野地域振興局 環境課	〒380-0836 長野市大字南長野南県町 686-1 長野合同庁舎	TEL:026(234)9533	FAX:026(234)9912
北信地域振興局 環境課	〒383-8515 中野市大字壁田 955 北信合同庁舎	TEL:0269(23)0202	FAX:0269(23)0275

信州プラスチックスマート運動を実施しています！ ～プラスチックと賢く付き合きましょう～

海洋プラスチックごみの増加による海洋環境への影響が、懸念されています。

長野県は太平洋、日本海に流れ込む河川を有する上流県であり、この課題と向き合うため、生活スタイルの見つめなおしから、プラスチックと賢く付き合う取組を積極的に進めていく必要があります。

私たち一人ひとりが意識して次のことを実践し、“ごみ減量日本一の継続”と、美しく「環境にやさしい長野県」を目指しましょう。



* 次の3つを意識した行動を *

◆ 意識して「選択」



- ・そのストロー、レジ袋は必要？いらないときはお断りしてみる。
- ・使い捨てとなるスプーン等は不要であればもらわない。

◆ 少しずつ「転換」



長野県リサイクルキャラクター クルルん

- ・マイバッグ、マイボトルを使ってみる。
- ・プラスチック製品に替わる木製、紙製などの代替製品を使ってみる。
- ・詰め替え製品を使ってみる。

◆ 分別して「回収」



- ・必要なプラスチックは使ってもいいんです。でも使い終わったら、ルールに従い分けて回収へ。

～解説～

海洋プラスチック問題とは？

海洋に流れ出すごみの多くは、使い終わって捨てられたプラスチック製品。それを海鳥や魚が誤って食べ、体内に取り込んでしまい、最悪命が奪われるなど海の生態系に大きな影響をもたらします。

プラスチック製品の廃棄量が全世界で増えている状況で、このままでは 2050 年には海洋プラスチックの量が海にいる魚の重量を超えと言われています。

代替製品とは？

プラスチックは丈夫で長期間使用できることが大きな利点ですが、それが環境中に捨てられ、細かく砕かれても分解されず、そのまま残ってしまうことが大きな問題です。

プラスチックに代わる製品として、バイオプラスチックや生分解性プラスチックなどの製品が開発されたり、紙製や木製の製品に替える取組も行われています。

長野県環境部資源循環推進課
TEL 026-235-7181 (直通)
Mail junkan@pref.nagano.lg.jp